

七戸町立鷹山宇一記念美術館特別展

桜・さくら・花しょうぶ

— 成川美術館コレクション —

2018年4月7日(土)～7月1日(日)

-会期中無休-

入館時間/10:00～18:00
(最終入館17:30)
※6/16(土)は講演会の為、
最終入館は16:30となります。

教 達 「花道選」



桜
華麗な美しさとともに、
枝り際のはかなさと儚さが、
人々の心を魅了する。

岡 信孝 「花菖蒲」



花菖蒲へはなれしよぶ
光がたるとは神楽舞の三日月
すのけやも変化するさまを
女たちの「花のまじり」を心に
ゆきまわして来た。

八戸学院大学短期大学部客員教授
～三村三千代講演会～
演題「日本人と桜(桜)」
6月16日(土) 17時～18時

～鷹山美緒プチコンサート～

4月21日	(土)	13時/15時
22日	(日)	11時
5月3日	(木)	13時/15時
4日	(金)	11時/13時/15時
5日	(土)	11時/13時/15時
6月2日	(土)	13時/15時
3日	(日)	11時

入館料/一般850(650)円、高校・大学生400(320)円、小・中学生200(160)円
※()内は前売券及び20名以上の団体、県民カレッジ受講者割引料金
※JAF会員は会員証ご提示で10%割引となります。
※前売券は、i. JTBチケット取り扱いのコンビニ各店にてお求めいただけます。
i. JTB商品番号⇒0248567(「チケットぴあ」ではお取り扱いできません)

主催/公益財団法人鷹山宇一記念美術館
共催/青森放送株式会社
後援/青森県、七戸町、七戸町教育委員会、七戸町文化協会、
(一社)しちのへ観光協会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社
鷹山宇一記念美術館友の会
協力/鉛根・戸ノ瀬成川美術館、株式会社東京マルイ美術
協賛/株式会社七戸物産協会

道の歌しちのへ「七戸町文化村」

七戸町立 鷹山宇一記念美術館

〒034-2501 青森県上北郡七戸町字鷹山内47-94
TEL:0176-62-5858 FAX:0176-62-5860 <http://www.tokuyama-museum.jp>



【次回予告】

宇宙戦艦ヤマト 銀河鉄道999

松本零士展

2018年7月14日(土)
～9月9日(日)

大家から新進気鋭まで、今日の日本画壇を代表する画家たちの最高傑作の収集で知られる、箱根・芦ノ湖「成川美術館」コレクションより、「桜」を主題とした作品を中心に、桜から菖蒲・あやめ・花菖蒲の秀作を選び出し展覧いたします。



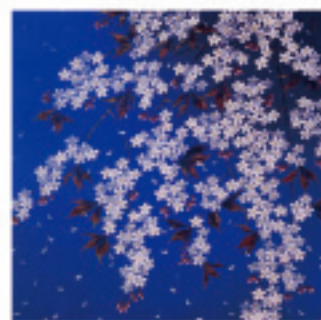
木村 圭吾 「神代桜」

万葉の時代の歌にも詠まれるなど「桜」は古くから日本人に最も愛されその美意識に深く浸透した、我が国を象徴する花です。春の代名詞ともいえる「桜」は、その華麗な美しさとともに、散り際のはかなさと潔さが人々の心を魅了し広く愛されてきました。

また、「花菖蒲（はなしょうぶ）」は梅雨の時期に見ることができ、花を咲かせるのはわずか三日間。短い間に刻々と変化するさまを、「花が芸をする」と呼び愛されてきました。



阿土 忠雄 「菖蒲」



久遠 進 「さくら」



平松 礼二 「路さくら・さくら」



松本 勝 「花菖蒲」

桜・さくら・花しょうぶ

成川美術館コレクション

【出品作家】

牧 進
岡 信孝
岡崎 忠雄
毛利 武彦
木村 圭吾
平松 礼二
松本 勝
・
他 (順不同)

本展覧会では「桜」、「花菖蒲」を中心に、多彩な表現をご紹介するとともに、長い歳月をかけて生まれてきた日本人特有の感性と豊かな美意識を改めて検証します。



道の駅しちのへ「七戸町文化村」
鷹山宇一記念美術館 語り継がれる展覧会を。

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒内67-94
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 <http://www.takayamamuseum.jp/>

